



八高新時代!! 君も挑戦、八高で三刀流!!

「知の泉」に「緑の風」吹く

令和6年2月29日(木)

兵庫県立八鹿高等学校

校長 山本 宏治

19

令和6年2月29日の卒業証書授与式で、次の話をしました。

「みなかみ遠き谷々の水を集めて^{あう}合ふところ おすぶにまかす知の泉 ^{きょう}けふぞ挙る」

いのちを育む清らかな水が、ふるさと但馬の山々から湧き出でて、八木川の水面に春の日差しを映し、やさしくきらめいています。本日ここに、多数のご来賓の皆様のご臨席を賜り、令和五年度兵庫県立八鹿高等学校卒業証書授与式を挙行できますことは、学校あげて大きな喜びとするところであり、心より厚くお礼申し上げます。

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。また、お子様の成長をここまで支えてこられました保護者の皆様、お子様のご卒業を心よりお祝い申し上げますとともに、これまで賜りました本校教育への深いご理解と力強いご支援に深く感謝申し上げます。

さて、卒業生の皆さんの高校生活は、新型コロナウイルス感染症とのたたかいと、5類移行後の新しい局面への対応が連続する3年間でした。授業や学校行事はもちろん、部活動の大会や地域との関わりにおいても、予期せぬ変更や混乱に負けることなく、粘り強く高校生活をやりとげ、未来への滑走路を走りきって大空に向かって飛び立っていく皆さんは、かけがえのない存在、私たちの自慢の八高生です。皆さんの幸多き前途を、心から祈っています。

卒業する皆さんに二つ、伝えたいことがあります。

まず、「生きていることはすばらしい」というメッセージを、確実に未来へつなぎ、伝えていっていただきたい。命は奇跡です。この奇跡を生きている私たちにとって、何一つ「あたりまえ」はありません。毎日の一分一秒が奇跡の連続です。生きるとは、心を燃やすこと。私の心を燃やしてくれるこの道をすすむのだ、という決意を持って、未来への一步を踏み出してください。若さを浪費しないで。学びを節約しないで。あなたの心に火を点けてくれる一本の道を、勇気を持って歩み続けましょう。私たちは互いの信頼関係の中に、人としての「質的な豊かさ」を求め、喜びや、悲しみを共有しながら、課題を克服して生きています。生きる喜びを感謝の言葉で表しましょう。そのことによって才能と努力が大きく花開きます。あなたは大切な人、という、人間本来の「こころ」で未来を切り拓いてほしいと、強く願っています。

二つ目。トヨタ自動車創業者、豊田佐吉氏の言葉です。「障子を開けてみよ。外は広いぞ。」待っていても扉は開きません。あなた自身の手で扉を開くのです。未知の世界への扉を開けると、そこには思いのほか広い世界があります。未経験の領域へ一步を踏み出す勇気を持ちましょう。陸地が見えなくなるまでこぎ出す勇気がなければ、新しい大陸を発見することはできないのです。皆さんは今まさに、陸地が見えなくなるころへと、船をこぎ出そうとしています。果敢に挑戦する皆さんで在り続けていただきたい。

皆さんの八高での三年間に敬意と感謝を込めて、式辞とします。